

【No. 1】 建築計画に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 基準寸法（モジュール）とは、建築などの寸法を調整したり規格化するために選ばれた寸法単位である
2. 動線計画には、来客者動線、時間外利用者動線、サービス動線、管理者動線がある
3. 不燃材料とは、建築材料のうち、不燃性能について政令で定める技術的基準に適合するもので、各メーカーが定めたものをいう
4. 床面積とは、その建築物各階またはその一部で壁その他の区画の中心線で囲まれた部分の水平投影面積をいう

答. 3

【No. 2】 準住居地域において、建築基準法上、新築してはならない建築物は、次のうちどれか。ただし、特定行政庁の許可は受けないものとし、用途地域以外の地域、地区等は考慮しないものとする。

1. マージャン屋
2. 一般事務所
3. ホテル
4. 料理店

答. 4

【No. 3】 建築構造に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 鉄骨構造は単位床面積当たりの重量がRC造よりも軽い
2. 鉄筋コンクリート造にはラーメン構造、壁式構造、壁式ラーメン構造、曲面版構造などがある
3. 木構造を主要構造物とする建築物は、建築基準法で延べ面積 1500 m²以下である
4. 鉄骨鉄筋コンクリート造は鉄骨コンクリート造より靱性がある

答. 3

【No. 4】 建築構造に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

〔 27 施設と設計 〕

1. 耐震性能の検証に関して法 20 条では高さ 60m を境にして構造形式と規模によって 4 つに区分されている
2. 鉄筋コンクリート造のうち、柱・梁・床を工場で製作し現場で組み立てる構法を PC 造という
3. 平面に偏った位置に大きな「吹き抜け」があると建物の荷重配分に偏りが生じ建物が捻れる原因となる
4. 免震構造とは建物に地震の揺れを抑える部材や装置を効果的な位置に設置し、振動を抑えることを考慮した建物である

答. 4

【No. 5】 搬送計画・通信設備に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. エレベーターの機械室の面積はシャフトの 1.5 倍以上をとる
2. エスカレーターには 800 型と 1200 型がある
3. エアシューターとは気送管ともいい、書類などを、空気圧を利用して送るものである
4. 案内・連絡・呼び出し・BGMなどの放送設備は非常時の避難誘導のための拡声放送を兼ねる場合が多い

答. 1

【No. 6】 商業施設のつくり方に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 建築設備は常に先端技術を取り入れ広範な技術分野を統合する技術で、建設費の割合は総工事費の 50% を超える場合も少なくない
2. 建築物には自重、積載荷重、土圧の短期荷重と風、地震、積雪荷重の常時（長期）荷重がある
3. 建築計画は商品、売り方、接客などソフトの内容をどのくらい効果的にできるかを左右する機能として重要である
4. 内外装計画は来店客にとって最も身近な要素であり、購買動機に大きな影響を与える

答. 2

【No. 7】 空気調和設備に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

〔 27 施設と設計 〕

1. ダクト設備は、一般に低速ダクトは円形、高速は角型で保温材とも不燃材料を使用する
2. ガス吸収冷温水機は、夏期、冬期ともにガスを燃焼させ、冷水と温水を同時にまたは切り換えて取り出すことができる
3. ヒートポンプは、冷房のほか暖房もできるが暖房負荷の大きい寒冷地にはあまり適さない
4. 定風量単一ダクト方式は、風量が一定であるので、十分な換気量を定常的に確保できる

答. 1

【No. 8】 歴史的な建築物とその様式に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. パリ大聖堂（フランス）は、ノートルダム寺院として有名で、フライングバットレスや双塔形式の正門を特徴とした初期ゴシック建築である
2. サン・ピエトロ大聖堂（ヴァチカン）は、巨大なドームや列柱廊を用いたビザンチン建築である
3. コロッセウム（ローマ）は、ローマ市内に残る古代最大の円形闘技場であり、ドリス式、イオニア式及びコリント式のオーダーを用いたローマ建築である
4. パルテノン神殿（アテネ）は、ドリス式のオーダーとイオニア式のオーダーを用いたギリシャ建築である

答. 2

【No. 9】 色彩計画に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 色相・彩度・色調を色の三属性という
2. マンセル体系とは色の三属性で構成された表色系のことである
3. 色彩計画のことをカラースキームという
4. 空間の背景色を地色と言い、その他の家具・什器の色を図色という

答. 1

【No.10】 サイン計画に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

〔 27 施設と設計 〕

1. サインの分類方法は、配置別と機能別の2種類である
2. 文章では理解し難い内容を端的に表現する手段として、図絵や写真が使用される
3. サインとして用いられる書体は、店名や業種・業態を明示する建物・施設意匠の一環として選定し、必要な場合には創作する
4. LED（発光ダイオード）やCRT（ブラウン管）製品の改良普及で、動画の表示が可能な屋外サインが増えている

答. 1

【No.11】 ディスプレイ計画に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. VMDの展開は目的に応じてVP、IP、PPの種類がある
2. 食品の生産情報や料理方法を掲示するのもVMDの一環である
3. VMDは言語が異なるヨーロッパで視覚的に通じる手法として発展してきた
4. ディスプレイはフェースツーフェースのライブなコミュニケーション手段である

答. 3

【No.12】 環境計画に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 環境計画は人間がつくり出した環境と、使用する人間との関係に立脚した計画である
2. 環境計画は関係のデザインであり、空間的・時間的・社会的な関係がある
3. ランドスケープデザインの対象は人間生活の一部に関わるのみで、都市づくりの全体に関与しない
4. ランドスケープデザインの目標は、人間・社会と自然環境との関係を調整美的統合を図ることである

答. 3

【No.13】 防災・安全計画に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 施設の安全性は、構造耐力、防火・耐火、使用上・避難上、衛生上等に対する配慮が必要である
2. 建築基準法では、建築物を常に適法状態に維持管理することを義務付けていないが、

〔 27 施設と設計 〕

人命の尊重のために防災を十分に考慮すべきである

3. 商業施設の内外装設備等については、安全設計の確認等を行う必要がある
4. 商業施設の人に対する安全としては、墜落・転倒や激突・はさまり、ガラス、熱源など危険防止に十分留意することが必要である

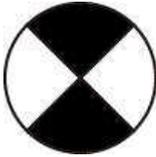
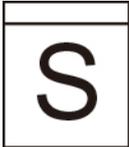
答. 2

【No.14】 省エネルギー計画に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 省エネ法に基づく届け出の対象面積は 300 m²以上である
2. CASBEEとは建築物のライフサイクルを通じた評価である
3. 住宅・建築物を利用することによるCO₂排出量は全体の約3分の1を占める
4. PALとはエネルギー消費係数の事である

答. 4

【No.15】 設計図書に用いられる設備記号に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1.  (電灯) ----- 不滅または非常用天井灯
2.  (給水・排水用器具)
----- グリーストラップ
3.  (自動火災報知機) ----- 煙感知器
4.  (消火設備) ----- 警報ベル

答. 1